

監查事務局

(1) 監査事務局予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景

監査委員は、地方自治法により設置された市長から独立している執行機関です。市の行財政運営に対して市民の厳しい目が向けられている中、監査委員の事務を補佐する監査事務局は監査委員の指揮監督の下、監査を効率的かつ効果的に実施するため、監査計画等を策定し、計画的に監査等を実施しています。

「市民視点の監査」「市民に開かれた監査」「行政改革に寄与する監査」を基本方針として、市の財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理などについて、「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を上げるようにしているか」、「常にその組織及び運営の合理化に努めているか」、「全庁的な業務改善につながるか」といった点に特に意を用いて、行財政運営をチェックする機能の中核として、公正かつ効果的な監査を実施しています。

◆予算編成の考え方

社会状況や監査の基本方針等を踏まえ、市の行財政が公正かつ効率的に運営されるよう監査を実施します。

◆予算の概要

監査事務局予算は委員費414万1千円です。これは、定期監査として行う各部の財務監査や一般会計・特別会計・病院事業会計の決算審査など、各種監査業務に必要な経費を計上しています。

主な内容は、次のとおりです。

- (1) 識見の監査委員1名と議会選出の監査委員2名、計3名の非常勤監査委員の報酬304万8千円
- (2) 監査関係図書の追録代などの消耗品費43万2千円
- (3) 工事監査に際して技術的、専門的な調査を技術士に委託する費用である工事監査調査業務委託料21万1千円
- (4) 監査事務に関する各種研修会の研修負担金8万9千円
- (5) 全国、関東、東京の各都市監査委員会負担金17万6千円

(2) 2011年度 監査事務局予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	目	2011年度	2010年度	比較	事業名
2	総務費					
	6	監査委員費				
		1 監査委員費	4,141	4,239	△ 98	委員費
	合	計	4,141	4,239	△ 98	

監査事務局予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2011年度	4,141	0	0	0	0	4,141
2010年度	4,239	0	0	0	0	4,239
比較	△ 98	0	0	0	0	△ 98

(3) 事業別支出科目一覽

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
2	6	1	監査委員費		4,141
			02 委員費	監査事務局	4,141
			監査委員報酬		3,048
			費用弁償		10
			普通旅費		35
			消耗品費		432
			合冊製本費		5
			工事監査調査業務委託料		211
			複写機使用料		135
			研修負担金		89
			全国都市監査委員会負担金		116
			関東都市監査委員会負担金		25
			東京都市監査委員会負担金		35

(4) 事業の説明

一般会計

款 2 項 6 目 1 監査委員費

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2011年度	4,141	0	0	0	0	4,141
2010年度	4,239	0	0	0	0	4,239

※2010年度の予算額と財源内訳は、6月補正後の金額です。

2 委員費 4,141 千円

担当 監査事務局 予算書 141 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,141

定期監査は年4回(うち1回は工事監査)実施し、各監査の実施に当たっては重点監査事項を設定し取り組みます。財政援助団体等監査として、市が補助金等の財政援助を行っている団体等の出納等の事務について年1回監査を実施します。決算審査(一般会計・特別会計・病院事業会計)は決算その他関係諸表の計数の正確等を検証し審査します。また、決算審査と同時期に健全化判断比率等審査、基金運用状況審査を実施します。例月出納検査は、毎月例日を定め、各会計の現金の出納を検査します。

なお、工事監査については、工事に係る専門的、技術的な調査を技術士に委託して実施します。

主な事業費 監査委員報酬 3,048千円
 工事監査調査業務委託料 211千円



監査等の主な内容と実施回数

定期監査(工事監査を含む)	年4回	
財政援助団体等監査	年1回	
決算審査	一般会計	年1回
	特別会計	
	病院事業会計	
例月出納検査	月1回	